

本丸丑寅櫓  
てっぺんにしゃちほこあり



市観光協会キャラクター  
まーちゃ

# しろ おも城！ 西尾城



西尾には明治時代の初めまで、西尾城という立派な城がありました。  
西尾城には、日本で“ナンバーワン”なところや、“オンリーワン”なところがたくさん。  
全国に誇れるユニークな城だったのです。

問文化振興課(☎56・6660/岩瀬文庫内)

## 天守がえらい大きい

記録によると、西尾城の天守の1階部分の面積は縦が7間、横が9間で63坪(約208平方メートル)だったようです。テニスコートと同じくらいの大きさで、岡崎城や国宝の犬山城より大きいサイズ。三重構造の天守の中では**日本最大級の大きさ**で、びっくりするような巨大天守でした。

## 守りがでれえ固い

安土桃山時代、城主・田中吉政は関東にいる徳川家康の進攻に備え、城を拡張。通常2~4棟あれば多いとされる**櫓を12棟も建て、守りを固めました**。また、敵に向けて鉄砲を撃つための狭間や出窓が天守と櫓にありました。江戸時代になると戦がなくなり、城の軍事的な意味合いは薄れましたが、備えは重要。明治時代に取り壊されるまで、守りの固い西尾城は維持され続けてきました。

## まち全体が城の中に入っとる



西尾市立図書館の近くにある「追羽門(おっぱもん)跡」(大給町)

西尾城は城下町全体を堀で囲む「総構え」と呼ばれる造りで、**まち全体が城の中に入っていました**。城の範囲は東西800メートル、南北400メートルと広大で、当時の西尾はヨーロッパの城郭都市のようでした。

二之丸にそびえていた三重四階建ての天守は構造的にも珍しく、天守の歴史を考える上でとても価値の高い建造物だったのです。

安土桃山時代になると、豊臣秀吉の家臣・田中吉政が西尾城主となり城を拡張。江戸時代には老中クラスの譜代大名が入れ替わりで城主になり、格式にふさわしい城郭整備が進められてきました。

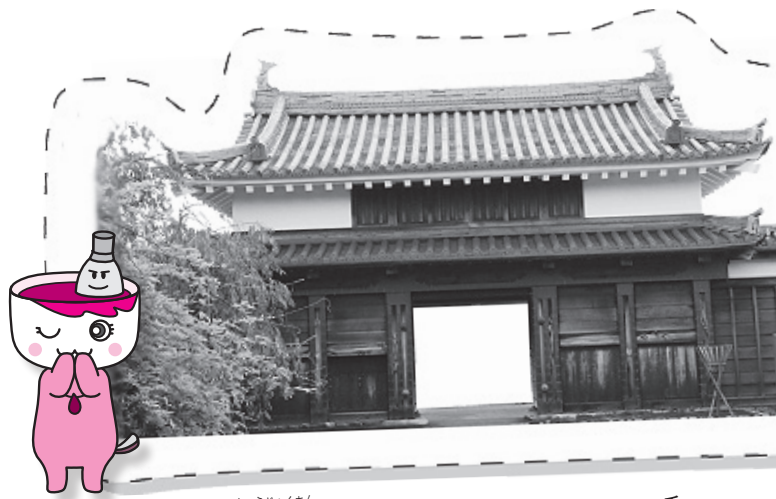
西尾城は鎌倉時代に今の歴史公園がある場所に造られたと伝えられます。その頃は天守も石垣もなく、城主の住居などがあるだけでした。

## 個性的な天守

西尾城には、立派で個性的な天守が建っていました。かつてあった天守が残っていません。明治時代、必要な城だけ残すという政府の方針を受けて取り壊されてしまったからです。しかし、江戸時代までの西尾城には、立派で個性的な天守が建っていました。

## 城

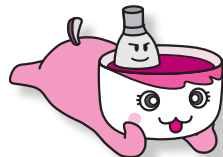
と聞いてまず思い浮かぶのは何ですか。天高くそびえ、豪華な装飾が施された天守(天守閣)ではないでしょうか。現在、西尾城跡の歴史公園には、かつてあった天守が残っていません。明治時代、必要な城だけ残すという政府の方針を受けて取り壊されてしまったからです。しかし、江戸時代までの西尾城には、立派で個性的な天守が建っていました。



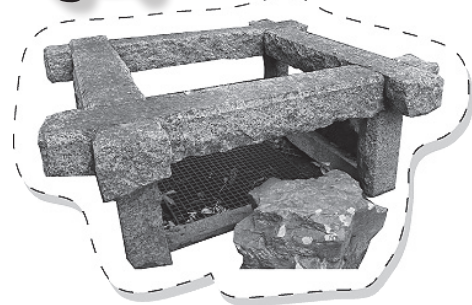
ちょうじやくもん 鑰石門。天守があった二之丸に入る重要な門で、城内で一番立派に作られた



市指定文化財「鰐口(わにくち)」。西尾城主・酒井正親(まさちか)が城内の御剣八幡宮に奉納し、「西尾」の文字が刻まれている。地名「西尾」を使ったものの中では古いものの一つ



本丸にある井戸の跡。織田信長が鷹狩のときにこの井戸の水を飲んだと伝えられている



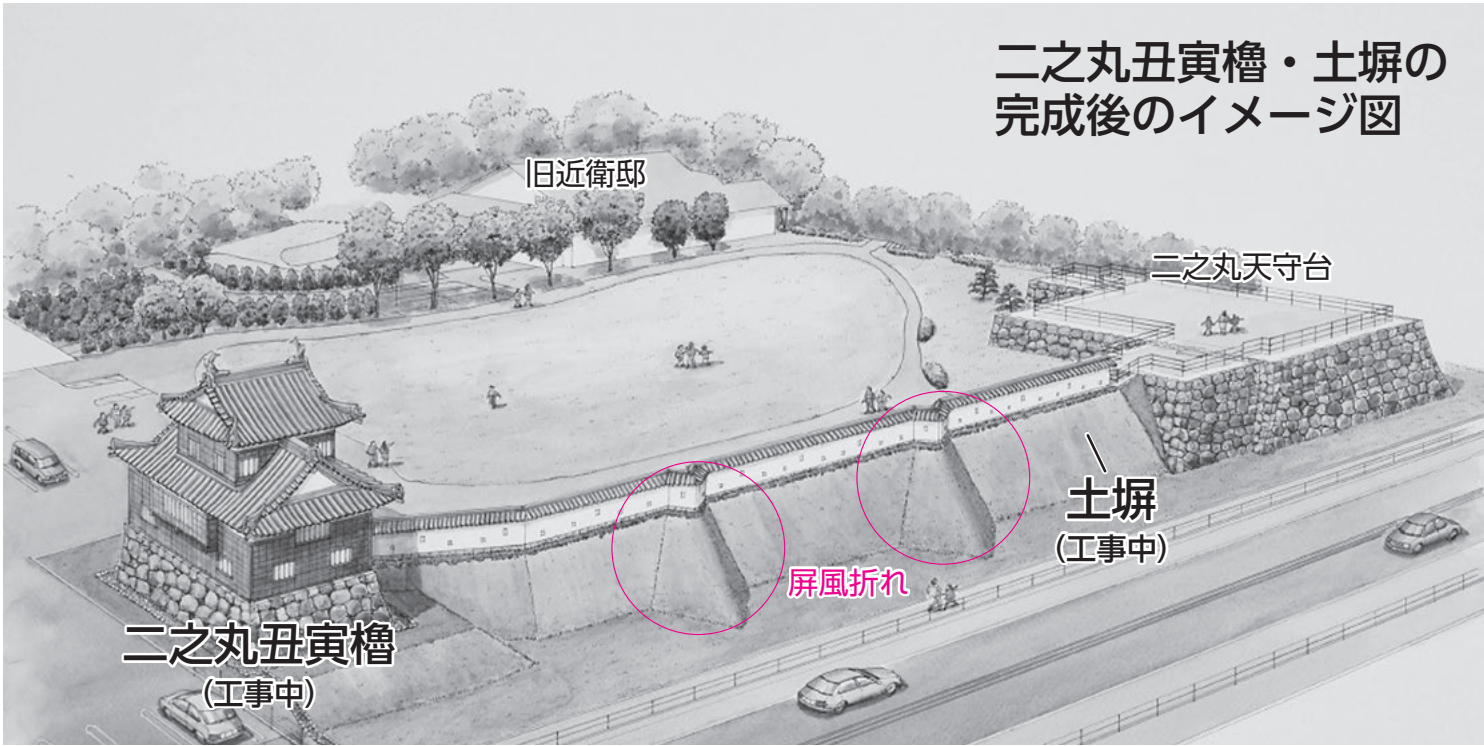
## 二之丸丑寅櫓と土塀を復元

天守が建っていた二之丸は、城主の住居や西尾藩の役所が置かれた城の中心的な場所でした。現在、来年夏の完成を目指して二之丸にあった丑寅櫓と土塀を復元する工事を行っています。今回復元する二之丸の丑寅櫓と土塀、さらに今後復元予定の天守の復元図を作成したのは、広島大学名誉教授で工学博士の三浦正幸さん。全国の城を調査・復元設計し、来年放送予定のNHKの大河ドラマ「麒麟がくる」の建築考証を務めているお城博士です。

## 珍しい屏風折れの土塀

二之丸の土塀には「屏風折れ」と呼ばれる折れ目が2つありました。これは、土塀に張り付くようにして身を隠した敵を鉄砲で撃てるようにするための工夫で、かなり防御力が高い構造です。この屏風折れの土塀は全国でも珍しく、復元されれば日本中から「お城マニア」が大勢訪れることでしょう。

## 二之丸丑寅櫓・土塀の完成後のイメージ図



## 西尾城のすごさを知ってほしい



広島大学名誉教授 工学博士  
**三浦 正幸**さん

名古屋市出身。松山城や名古屋城、岡崎城など全国の城の整備に関わり、西尾城の復元図を作成

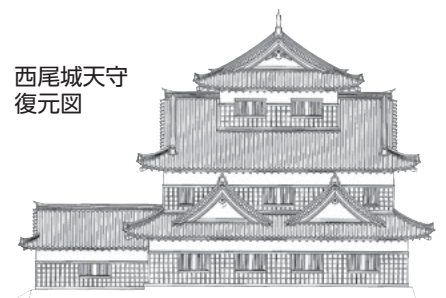
**西**尾城の天守はとても個性的。層塔型（同じ形の建物を積み上げていく構造）の上に望楼型（入母屋造りの建物の上に物見の建物を載せる構造）を載せた日本で唯一の天守です。これだけ独創的な天守は他にありません。また、西尾城の天守はとても大きく、岡崎城や彦根城の天守より大きい。犬山城天守とほぼ同じくらいか少し大きいくらいです。こんなにすごい西尾城天守が再建されれば、全国から人が集まるはずですよ。

**城**の復元図を作るには、科学的な推理が必要。全国の城の構造を知っていることも大切です。西

尾城は古写真が残っていないため、いろいろな資料を調べなくてはならず、かなり大変でした。

**日**本の城はそれぞれに強烈な個性を持っています。西尾には特に個性的な城があったことを、市民の皆さんに誇りに思ってもらいたいですね。

西尾城天守復元図



## 西尾のシンボルに 天守の復元

近年、城好きの女性「城ガール」や、外国人観光客が増加し、空前のお城ブームが到来しています。歴史公園も平成8年に本丸丑寅櫓、平成25年に二之丸の天守台などを整備し、観光客が年々増加しています。

歴史公園の魅力をさらに高めるため、今後30年以内の西尾城天守の復元が計画されています。三浦教授の復元図を基に、できるだけ史実に近い形で、木造での復元を目指しています。独自の西尾城の天守が復元されれば、観光の目玉となるだけでなく、六万石城下町西尾のシンボルとして、市民の誇りとなることでしょう。



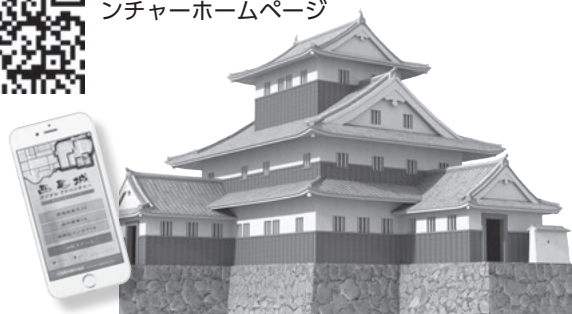
再建済みの二之丸の天守台

## スマホをかざすと天守が出現

西尾城天守を拡張現実(A R)技術を使って復元するアプリケーション「西尾城デジタルアドベンチャー」を配信中。アプリをダウンロードし、歴史公園の二之丸天守台に向けてスマートフォンなどの端末をかざすと、CG化された天守が出現します。その他、謎解きゲームやCG化された城内を散策できるモードなどもあり、現地に行かなくても城の雰囲気を楽しめます。



西尾城デジタルアドベンチャーホームページ



## 城の絵はイロイロ

内閣文庫の『三河国西尾』(下図)は、二之丸に天守が描かれている最古の西尾城の絵図です。『正保城絵図』とも呼ばれ、幕府に提出された正式なものですが、寸法や形が古文書と合っていない点もあります。この他にも西尾城を描いた絵図はいくつかありますが、どの絵図も少しずつ違っていて、復元図を作成するためには発掘調査の結果や古文書の記述と合わせて考察することが必要です。



城も抹茶もパフェも  
楽しめる!



西尾キャンペーンレディ2019の皆さん



## 歴史公園

錦城町231-1  
☎54・6758 (旧近衛邸)

### アクセス

- ・電車…名鉄西尾駅から徒歩約10分
- ・六万石くるりんバス…①市街地線「歴史公園西」バス停から徒歩約3分 ②西廻り線「歴史公園北」バス停から徒歩約1分



詳しくは  
市ホームページへ



旧近衛邸  
抹茶一服(和菓子付き)400円



尚古荘  
庭園を見ながら抹茶デザートが味わえる  
「抹茶ラボ 西尾伝想茶屋店」が隣接